

令和 4 年 6 月 20 日現在

機関番号：32643

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2017～2020

課題番号：17H04126

研究課題名（和文）診察室外血圧の統合データベース構築と循環器リスクの比較評価

研究課題名（英文）Integration of out-of-office blood pressure for investigating comprehensive risk on cardiovascular complications.

研究代表者

浅山 敬（Asayama, Kei）

帝京大学・医学部・教授

研究者番号：80431518

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,700,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、参画した各コホートにおける住民調査を支援した。特に大迫コホートにおいて家庭血圧測定、頭部MRI撮影などの悉皆調査を実施し、SONIC研究を通じて超高齢者における家庭血圧の精度検定を共同で遂行した。各コホートのデータは、予め設計したフォーマットに沿って分割された集計値として収集し、メタ解析の手法で統合・解析した。また、先行する自由行動下血圧の国際共同研究 IDACOと、家庭血圧の国際共同研究 IDHOCOでの研究・解析作業により、自由行動下で測定された昼間、夜間血圧や収縮期血圧・平均血圧と循環器予後との関連の定量化、脈圧の分析、拡張期高血圧の意義などを学術誌に報告した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究によって我が国の一般地域住民コホートにおける、整った条件下で測定された家庭血圧・脈拍の自然状況ならびに服薬の影響が明らかとなった。今後、本研究報告が家庭血圧値の基準的な値として参照されることが期待される。また、個人データを直接扱わずにメタ解析の手法で結果を導出した本研究手法は、疫学研究で生じる実務面の問題を解決し得る新しいアプローチとしても意義深いと考えられた。また、家庭血圧ならびに自由行動下血圧の早期からの継続的な測定が、将来の脳心血管病の発症可能性の把握と予防につながることで、特に夜間血圧測定の重要性が本研究から定量的に明らかとなった。

研究成果の概要（英文）：In this study, we supported resident surveys in each cohort. In particular, we conducted an all-inclusive survey, including home blood pressure measurement and brain MRI imaging in the Ohasama cohort, and jointly conducted a validation of home blood pressure device in the very elderly through the SONIC study. The data from the participated cohort were collected as aggregate data according to a pre-designed format, and were integrated and analyzed based on a meta-analysis methods. Furthermore, based on the preceding IDACO and IDHOCO international collaborative study of out-of-office blood pressure, we have published dozens of research article regarding the association of blood pressure measurement indexes and cardiovascular outcomes.

研究分野：高血圧の疫学

キーワード：診察室外血圧 家庭血圧 自由行動下血圧 集計データ解析 循環器疫学

様式 C-19、F-19-1、Z-19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 家庭血圧は、日々の測定によって血圧の定点観測を可能し、被験者自身の健康意識を高め、服薬者の受療アドヒアランスの向上も実現する優れたツールである。だが、これまで家庭血圧に関するエビデンスを発信した代表的なコホートは追跡開始年が 1980~90 年代であり、血圧の測定条件や機種のパラツキが大きい。降圧治療の薬剤・用量などの情報が不十分なことに加え、血圧以外の危険因子・合併症に関する情報も少ないため、近年の脳心血管病 (循環器疾患) 危険因子の構造の変化に対応した精度の高い疾患予測分析が困難な状況にあった。

また、海外には診察室外血圧、すなわち家庭血圧ならびに自由行動下血圧 (ABP) の統合データベースが複数存在するが、診察室外血圧に関する国内コホートの大規模データベースは存在しない。そのため、日本国内における家庭血圧の、確度の高い分布状況すらわかっていなかった。特に晩の家庭血圧は、海外の報告が主に夕食前後の測定であるのに対し、我が国では就床直前の測定が多い。従って、朝と比較した晩の家庭血圧が、諸外国では高値であるのに我が国のコホートではおしなべて低値である上に、その特性もいまだ不明瞭であった。

(2) 本研究参画コホートの一つである SONIC 研究では、85-86 歳の超高齢者を対象としたベースライン調査を控えていた。本集団に家庭血圧測定を導入しようとする際に、家庭血圧が超高齢者で測定可能であること、つまり聴診法による血圧測定値と家庭血圧計 (オシロメトリック法) による測定値が一致していることの保証がほとんどない現状にあった。そのため、超高齢者における家庭血圧計の精度検定を実施することにより、研究・臨床における家庭血圧計の超高齢者への適用についてのエビデンスが求められていた。

(3) 診察室外血圧のゴールドスタンダードは現在も ABP である。ABP に関する国際共同研究 IDACO は、本研究の複数の研究者が参画し共通データを提供・利用するなど本研究との関連が深い。IDACO は従来より ABP に関するエビデンスを発信し続けており、ABP の中でも夜間血圧の正確な同定が将来の脳心血管病発症予測のために最も重要であることが知られる (Asayama K et al. Hypertension 2014: 935-42)。しかし、予後予測能の定量的な比較はまだ不十分であった。

2. 研究の目的

(1) 本研究では、2000 年代に入って家庭血圧測定を実施し、詳細な危険因子・臓器障害に関する住民情報を有する国内の家庭血圧コホート研究を統合した大規模データベース「MDAS」 (a modern database on self-measured home blood pressure) を作成した。そのデータベースを用いて、日本人の家庭血圧の分布や、性・年齢・服薬有無別の血圧値の差異を明らかにすることを目的とした。

(2) SONIC 研究で超高齢者の家庭血圧測定が本格導入されたが、もし測定値に系統的誤差が生じていれば結果の分析発表時に補正を実施しなければならないことから、並行して超高齢者を対象に血圧計の精度検定を行うこととした。

(3) ABP のうち、昼間、夜間、24 時間の測定値のいずれが最も予後予測に有用であるか、について、国際共同研究 IDACO のデータベースから解析した。

3. 研究の方法

(1) 本研究には、同一機種 HEM-70801C (または精度検定で同一と確認された機種) で、我が国の高血圧ガイドラインに沿う形で比較的均一な条件下で測定された家庭血圧情報を有する 5 コホートが参画した (表)。

表: 各コホートからのデータ収集を依頼した人数、性・年齢分布、血圧測定状況など

	N	女性 (%)	年齢 (SD)	服薬 %	測定年	家庭血圧計 (HEM-)	晩測定	参考: 診察室血圧の測定方法
Hisayama	2856	57	63 (12)	31	2007-08	70801C	有	BP-203RPE111B で 3 回
Nagahama	6465	67	58 (12)	23	2008-10	70801C	有	HEM-9000AI で 2 回 (臥位)
Ohasama	1127	28	63 (5)	32	2001-17	70801C, 7471CN	有	HEM-907 で 2 回
SESSA	996	0	64 (10)	28	2006-08	7051T (70801C 同等)	無	BP-8800SF で 2 回
SONIC	968	53	80 (1)	-	2017-18	70801C	有	水銀または自動血圧計で 2 回

そこで、各コホートより朝・晩の家庭血圧の集計データを、男女別 (SESSA は男性のみ)・年齢 5 歳刻み (SONIC は 85-86 歳頃のみ)・降圧薬内服の有無別に収集し、統合データベース MDAS を作成した。なお、血圧測定条件は共通して、朝は起床後 1 時間以内・朝食前・服薬前・排尿後、晩は就床直前であった。その情報に基づいて、朝・晩の家庭血圧値の男女・年齢・服薬別の推移を、ランダム効果モデルに基づくメタ解析の手法で分析した。

(2) MDAS で用いられている家庭血圧計 HEM-70801C について、国際標準化機構の血圧計臨床評価

プロトコル (ISO 81060-2:2013) に準拠して、平均年齢 87.7 歳の外来高血圧患者 35 名での精度検定を実施した。リファレンスは水銀血圧計での聴診法による手動測定値とした。

(3) IDACO に登録された世界 13 地域・3 大陸 (東アジア、ヨーロッパ、南アメリカ) の一般地域住民 11135 名を平均 14 年追跡し、この間に発生した 2836 例の脳心血管病の発症または死亡とベースライン時の ABP の値との関連性を、各種危険因子で調整して解析した。

#### 4. 研究成果

(1) 朝の家庭血圧は服薬の有無により集団として 5-10mmHg 以上異なり、その較差は女性で男性より 5mmHg 程大きかった (右図)。服薬者における朝晩較差は、未服薬者に比べ 2-3mmHg ほど大きかった。朝の家庭脈拍は、性・年齢・服薬の有無にかかわらず平均 60bpm 台後半 (60-79 歳で 63.3-66.2bpm) の狭い範囲に収まっていた。

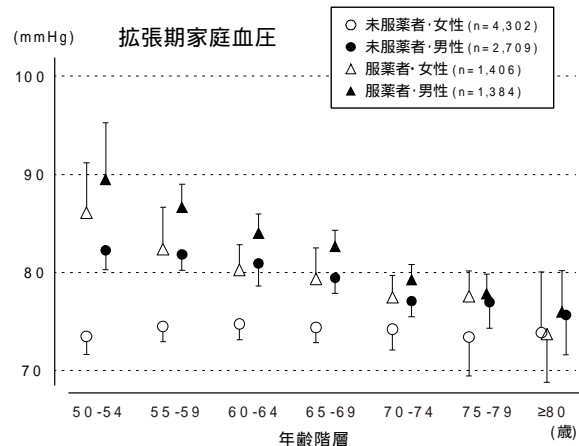
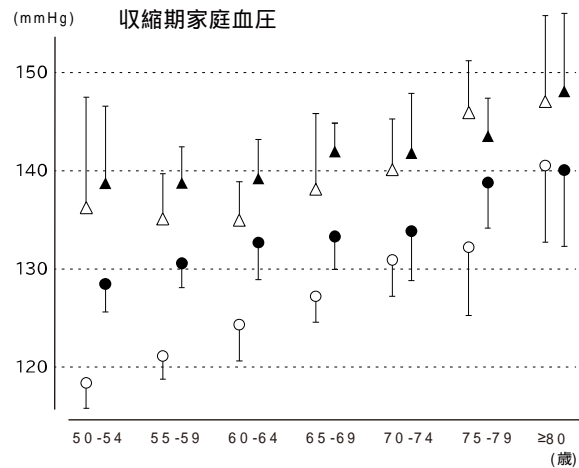
未服薬者のうち、50-79 歳での朝晩の収縮期/拡張期血圧の較差は、女性で 5.7 (コホート間の差異は 5.2-6.7)/5.0 (4.7-5.4) mmHg、男性で 7.3 (6.3-8.5)/7.7 (6.9-8.7) mmHg と同程度に認められた。反対に脈拍は、晩の方が朝よりも女性で 2.4 (1.5-3.7)bpm、男性で 5.6 (4.6-6.6)bpm 早かった。

我が国の一般地域住民コホートで、整った条件下で測定された家庭血圧・脈拍の自然状況ならびに服薬の影響が明らかとなった。また、MDAS では個人データを直接扱わずにメタ解析の手法で結果を導出している。この方法は、疫学研究で生じる実務面の問題を解決し得る新しいアプローチとしても意義深いと考えられた。本結果の詳細は学術論文を参照されたい (Asayama K et al. Hypertens Res 2020: 1403-12)

(2) 手動測定に比べた家庭血圧計の、すべての測定平均は 0.7 (標準偏差 7.1)/1.1 (4.5)mmHg 低く、一人一人を平均化した 35 名の測定平均 0.7(5.8)/1.1 (4.1)mmHg 低かった。この誤差は、ISO 81060-2 が定めた  $\pm 5.0$  (8.0)mmHg 以内に収まっており、超高齢者での妥当な家庭血圧測定が行われて得ると考えられた。一方、誤差が拡大する要因として多変量解析からは腕帯のサイズが同定され、細腕用腕帯を用いた場合の測定値は手動測定より 7.3 (6.9)mmHg 低い値を示していた。腕帯は被検者の上腕周囲径によって適切なサイズが用いられるが、手動測定との差が細腕用腕帯で大きくなっていったことは、細腕の高齢対象者で想定されるサルコペニア・フレイルの有病者においては家庭血圧が過小評価される可能性を含有しており、適切な注意を払う必要があると考えられた。

本結果を学術論文として上梓 (Godai K et al. Hypertens Res 2020: 30-5) した後、研究代表者が参画している ISO の血圧計部会で、血圧計の臨床評価の改訂作業において(超)高齢者における血圧計精度検定の実態と妥当性を調査することとなった。すなわち、本論文の手法による検定をもって本当に高齢者での測定を保証して良いのか、という課題である。改めて文献的検討を実施した結果、高齢者におけるカフ式血圧計の検定結果が本論文とあわせて 8 報 (11 機種) 抽出された。このうち、高齢者での検定結果とそれ以外の集団での結果を直接比較したものはなかったが、高齢者における検定では 6 報が妥当、2 報が測定値の誤差が許容できない、との結果を出していた。高齢者の定義は国・民族差や文化的背景、性別、さらに研究者・評価者の主観によりさまざまのため、本報告書の執筆時点では高齢者での血圧計の検定方法を改める積極的な動きはない。しかし、特に超高齢者となるとオシロメトリック法と聴診法の解離が大きくなることが知られており、今後も関連知見の追跡とアップデートが必要であろう。

(3) IDACO 研究集団では、追跡開始時に測定された診察室血圧、昼間 ABP、夜間 ABP、そして 24 時間 ABP のうち、24 時間ならびに夜間の収縮期 ABP が高値である場合に、脳心血管病の罹患率が最も高いことが判明した。24 時間 ABP と夜間 ABP の 10 年間の脳心血管病発症リスクは、次頁のように縦軸に夜間収縮期 ABP を、横軸に 24 時間収縮期 ABP を配し、各マトリックスのリスクを色の濃淡で図示したヒートマップで視覚的にも明瞭に表された。

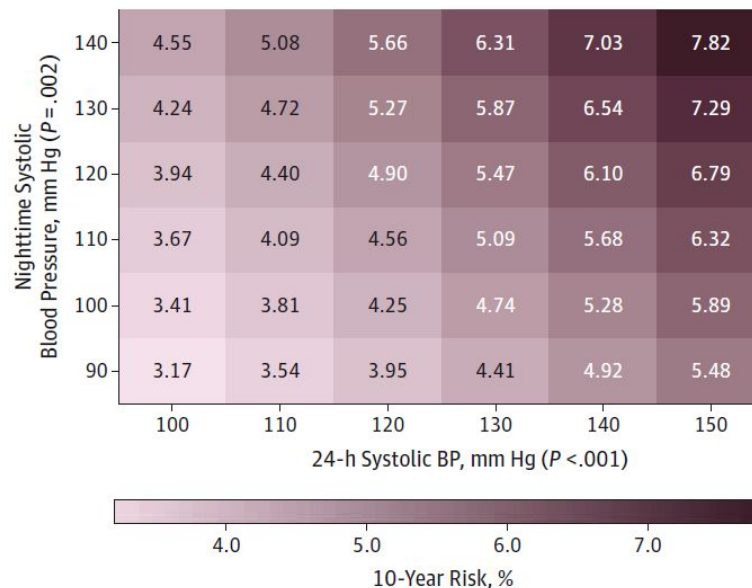


註: 4 種のマーカーは、階層ごとに統合した家庭血圧の平均値  $\pm 95\%$  信頼区間 (片方向のみ図示)

本結果から、ABP 測定を、夜間を含めて 24 時間に渡って実施するべきであること、その測定値によって将来の脳心血管病の発症可能性を把握し、早期からの血圧管理に向けて取り組むことが脳心血管病の予防に重要と考えられた。本結果は学術誌に詳細を上梓している (Yang WY et al. JAMA 2019: 409-20)。

一方、我が国では家庭血圧測定が広く普及しており、家庭血圧は ABP と同程度の高い脳心血管病予後予測能を有することが知られている。日本高血圧学

会の高血圧治療ガイドライン (JSH 2019) でも、高血圧の診断根拠として家庭血圧を診察室血圧よりも優先するよう定めるなど、家庭血圧に基づいた高血圧の診断・治療を推奨している。従って本結果は、診察室外での多様な血圧測定に基づく高血圧の管理が脳心血管病の予防に重要であることを、改めて強調する結果と考えられた。



## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計66件（うち査読付論文 66件 / うち国際共著 8件 / うちオープンアクセス 26件）

1. 著者名 Yasuharu Tabara, Setoh Kazuya, Kawaguchi Takahisa, Nakayama Takeo, Matsuda Fumihiko, the Nagahama study group	4. 巻 23
2. 論文標題 Brachial ankle pulse wave velocity and cardio ankle vascular index are associated with future cardiovascular events in a general population: The Nagahama Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Clinical Hypertension	6. 最初と最後の頁 1390 ~ 1398
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jch.14294	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Funada Satoshi, Tabara Yasuharu, Setoh Kazuya, Negoro Hiromitsu, Akamatsu Shusuke, Yoshino Takayuki, Yoshimura Koji, Watanabe Norio, Furukawa Toshi A., Matsuda Fumihiko, Ogawa Osamu	4. 巻 204
2. 論文標題 Impact of Nocturia on Mortality: The Nagahama Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Urology	6. 最初と最後の頁 996 ~ 1002
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JU.0000000000001138	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Ohi Takashi, Murakami Takahisa, Komiyama Takamasa, Miyoshi Yoshitada, Endo Kosei, Hiratsuka Takako, Satoh Michihiro, Asayama Kei, Inoue Ryusuke, Kikuya Masahiro, Metoki Hirohito, Hozawa Atsushi, Imai Yutaka, Watanabe Makoto, Ohkubo Takayoshi, Hattori Yoshinori	4. 巻 39
2. 論文標題 Oral health related quality of life is associated with the prevalence and development of depressive symptoms in older Japanese individuals: The Ohasama Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Gerodontology	6. 最初と最後の頁 204 ~ 212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ger.12557	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Yamada Sho, Komiyama Takamasa, Ohi Takashi, Murakami Takahisa, Miyoshi Yoshitada, Endo Kosei, Hiratsuka Takako, Hara Azusa, Satoh Michihiro, Tatsumi Yukako, Inoue Ryusuke, Asayama Kei, Kikuya Masahiro, Hozawa Atsushi, Metoki Hirohito, Imai Yutaka, Ohkubo Takayoshi, Hattori Yoshinori	4. 巻 57
2. 論文標題 Regular dental visits, periodontitis, tooth loss, and atherosclerosis: The Ohasama study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Periodontal Research	6. 最初と最後の頁 615 ~ 622
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jre.12990	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sunadome Hironobu, Sato Susumu, Matsumoto Hisako, Murase Kimihiko, Kawaguchi Takahisa, Tabara Yasuharu, Chin Kazuo, Matsuda Fumihiko, Hirai Toyohiro	4. 巻 57
2. 論文標題 Similar distribution of peripheral blood eosinophil counts in European and East Asian populations from investigations of large-scale general population studies: the Nagahama Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 European Respiratory Journal	6. 最初と最後の頁 2004101 ~ 2004101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1183/13993003.04101-2020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tabara Yasuharu, and the Nagahama study group, Matsumoto Takeshi, Murase Kimihiko, Setoh Kazuya, Kawaguchi Takahisa, Nagashima Shunsuke, Kosugi Shinji, Hirai Toyohiro, Nakayama Takeo, Wakamura Tomoko, Chin Kazuo, Matsuda Fumihiko	4. 巻 42
2. 論文標題 Frequent nocturnal urination in older men is associated with arterial stiffness: The Nagahama study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Hypertension Research	6. 最初と最後の頁 1996 ~ 2001
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41440-019-0309-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa Tomofumi, Akiguchi Ichiro, Satoh Michihiro, Hara Azusa, Hirano Mikio, Hosokawa Aya, Metoki Hirohito, Asayama Kei, Kikuya Masahiro, Nomura Kyoko, Hozawa Atsushi, Miyamatsu Naomi, Imai Yutaka, Ohkubo Takayoshi	4. 巻 11
2. 論文標題 The association of disproportionately enlarged subarachnoid space hydrocephalus with cognitive deficit in a general population: the Ohasama study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-95961-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Negoro Hiromitsu, Fukunaga Arinobu, Setoh Kazuya, Kawaguchi Takahisa, Funada Satoshi, Yoshino Takayuki, Tabara Yasuharu, Yoshimura Koji, Kanematsu Akihiro, Nishiyama Hiroyuki, Matsuda Fumihiko, Ogawa Osamu, Nagahama Study Group	4. 巻 40
2. 論文標題 Medical history of nocturnal enuresis during school age is an independent risk factor for nocturia in adults: The Nagahama study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurourology and Urodynamics	6. 最初と最後の頁 326 ~ 333
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/nau.24562	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tabara Yasuharu, Matsumoto Takeshi, Murase Kimihiko, Setoh Kazuya, Kawaguchi Takahisa, Kosugi Shinji, Nakayama Takeo, Hirai Toyohiro, Wakamura Tomoko, Chin Kazuo, Matsuda Fumihiko	4. 巻 38
2. 論文標題 Home device-monitored sleep blood pressure reflects large artery stiffness: the Nagahama study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Hypertension	6. 最初と最後の頁 2459 ~ 2464
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/HJH.0000000000002576	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Takeshi, Murase Kimihiko, Tabara Yasuharu, et al.	4. 巻 56
2. 論文標題 Sleep disordered breathing and metabolic comorbidities across sex and menopausal status in East Asians: the Nagahama Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 European Respiratory Journal	6. 最初と最後の頁 1902251 ~ 1902251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1183/13993003.02251-2019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taniguchi Masashi, Ikezoe Tome, Kamitani Tsukasa, Tsuboyama Tadao, Ito Hiromu, Matsuda Shuichi, Tabara Yasuharu, Matsuda Fumihiko, Ichihashi Noriaki, on behalf of the Nagahama Study Group	4. 巻 40
2. 論文標題 Extracellular-to-intracellular water ratios are associated with functional disability levels in patients with knee osteoarthritis: results from the Nagahama Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Rheumatology	6. 最初と最後の頁 2889 ~ 2896
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10067-021-05591-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tabara Yasuharu, Matsumoto Takeshi, Murase Kimihiko, Setoh Kazuya, Kawaguchi Takahisa, Nagashima Shunsuke, Funada Satoshi, Kosugi Shinji, Hirai Toyohiro, Nakayama Takeo, Wakamura Tomoko, Chin Kazuo, Matsuda Fumihiko, the Nagahama study group	4. 巻 38
2. 論文標題 Lifestyle habits associated with nocturnal urination frequency: The Nagahama study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurourology and Urodynamics	6. 最初と最後の頁 2359 ~ 2367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/nau.24156	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Funada Satoshi, Luo Yan, Yoshioka Takashi, Setoh Kazuya, Tabara Yasuharu, Negoro Hiromitsu, Akamatsu Shusuke, Yoshimura Koji, Matsuda Fumihiko, Furukawa Toshi A., Efthimiou Orestis, Ogawa Osamu	4. 巻 21
2. 論文標題 Protocol for development and validation of a prediction model for 5-year risk of incident overactive bladder in the general population: the Nagahama study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Urology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12894-021-00848-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Ayako, Hosoda Yoshikatsu, Miyake Masahiro, Miyata Manabu, Oishi Akio, Tamura Hitoshi, Ooto Sotaro, Yamashiro Kenji, Tabara Yasuharu, Matsuda Fumihiko, Tsujikawa Akitaka	4. 巻 5
2. 論文標題 Clinical and Genetic Characteristics of Pachydrusen in Eyes with Central Serous Choroidopathy and General Japanese Individuals	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ophthalmology Retina	6. 最初と最後の頁 910 ~ 917
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.oret.2020.12.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Funada Satoshi, Luo Yan, Yoshioka Takashi, Setoh Kazuya, Tabara Yasuharu, Negoro Hiromitsu, Yoshimura Koji, Matsuda Fumihiko, Efthimiou Orestis, Ogawa Osamu, Furukawa Toshi A, Kobayashi Takashi, Akamatsu Shusuke	4. 巻 -
2. 論文標題 Development and validation of prediction model for incident overactive bladder: The Nagahama study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Urology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/iju.14887	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uchida Shinya, Kikuya Masahiro, Asayama Kei, Ohata Chiaki, Kimura Takahiro, Tatsumi Yukako, Nomura Kyoko, Imai Yutaka, Ohkubo Takayoshi, Hypertension Objective Treatment Based on Measurement by Electrical Devices of Blood Pressure (HOMED-BP) Investigators	4. 巻 45
2. 論文標題 Predictive power of home blood pressure in the evening compared with home blood pressure in the morning and office blood pressure before treatment and in the on-treatment follow-up period: a post hoc analysis of the HOMED-BP study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Hypertension Research	6. 最初と最後の頁 722 ~ 729
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41440-022-00860-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Takahashi Naomi, Matsumoto Takeshi, Nakatsuka Yoshinari, Murase Kimihiko, Tabara Yasuharu, et al.	4. 巻 18
2. 論文標題 Differences between subjective and objective sleep duration according to actual sleep duration and sleep-disordered breathing: the Nagahama Study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Sleep Medicine	6. 最初と最後の頁 851 ~ 859
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5664/jcsm.9732	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakao Shin-ya, Miyake Masahiro, Hosoda Yoshikatsu, Nakano Eri, Mori Yuki, Takahashi Ayako, Ooto Sotaro, Tamura Hiroshi, Tabara Yasuharu, Yamashiro Kenji, Matsuda Fumihiko, Tsujikawa Akitaka, Nakayama Takeo, Sekine Akihiro, Kosugi Shinji	4. 巻 128
2. 論文標題 Myopia Prevalence and Ocular Biometry Features in a General Japanese Population	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ophthalmology	6. 最初と最後の頁 522 ~ 531
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.opthta.2020.08.023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nigoro Kazuya, Ito Hiromu, Kawata Tomotoshi, Ishie Shinichiro, Morita Yugo, Nishitani Kohei, Aoyama Tomoki, Tabara Yasuharu, Matsuda Fumihiko, Narumiya Shu, Matsuda Shuichi	4. 巻 13
2. 論文標題 Differential Contribution of the Medial and the Lateral Side of the Joint to Symptoms in Knee Osteoarthritis: A Radiographic and Laboratory Analysis in the Nagahama Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 CARTILAGE	6. 最初と最後の頁 1648S ~ 1657S
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/19476035211025817	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama Shingo, Satoh Michihiro, Metoki Hirohito, Murakami Takahisa, Asayama Kei, Hara Azusa, Hirose Takuo, Inoue Ryusuke, Tsubota-Utsugi Megumi, Kikuya Masahiro, Mori Takefumi, Hozawa Atsushi, Node Koichi, Imai Yutaka, Ohkubo Takayoshi	4. 巻 2
2. 論文標題 N-Terminal Pro-B-Type Natriuretic Peptide Is a Predictor of Chronic Kidney Disease in an Asian General Population The Ohasama Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Circulation Reports	6. 最初と最後の頁 24 ~ 32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circrep.CR-19-0044	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito Motoo, Ito Hiromu, Okahata Akinori, Furu Moritoshi, Nishitani Kohei, Kuriyama Shinichi, Nakamura Shinichiro, Kawata Tomotoshi, Ikezoe Tome, Tsuboyama Tadao, Ichihashi Noriaki, Tabara Yasuharu, Matsuda Fumihiko, Matsuda Shuichi	4. 巻 13
2. 論文標題 Ultrasonographic Changes of the Knee Joint Reflect Symptoms of Early Knee Osteoarthritis in General Population; The Nagahama Study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 CARTILAGE	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/19476035221077403	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukuhara S., Asai K., Kakeno A., Umebachi C., Yamanaka S., Watanabe T., Yamazaki T., Nakao K., Setoh K., Kawaguchi T., Morita S., Nakayama T., Matsuda F., Bessho K., Tabara Yasuharu, Kawaguchi Takahisa, Setoh Kazuya, Takahashi Yoshimitsu, Kosugi Shinji, Nakayama Takeo, Matsuda Fumihiko	4. 巻 100
2. 論文標題 Association of Education and Depressive Symptoms with Tooth Loss	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Dental Research	6. 最初と最後の頁 361 ~ 368
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0022034520969129	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikezoe Tome, Tsuboyama Tadao, Tabara Yasuharu, Matsuda Fumihiko, Ichihashi Noriaki	4. 巻 97
2. 論文標題 Weak hip flexor strength predicts progression of functional capacity decline due to locomotor system dysfunction in community-dwelling older adults: A longitudinal cohort study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 104499 ~ 104499
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2021.104499	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Muroya Tomoko, Satoh Michihiro, Murakami Takahisa, Nakayama Shingo, Asayama Kei, Hirose Takuo, Tatsumi Yukako, Inoue Ryusuke, Tsubota-Utsugi Megumi, Hara Azusa, Kogure Mana, Nakaya Naoki, Nomura Kyoko, Kikuya Masahiro, Metoki Hirohito, Imai Yutaka, Hozawa Atsushi, Ohkubo Takayoshi	4. 巻 40
2. 論文標題 Association between urinary sodium-to-potassium ratio and home blood pressure and ambulatory blood pressure: the Ohasama study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Hypertension	6. 最初と最後の頁 862 ~ 869
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/HJH.0000000000003087	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakano Eri, Miyake Masahiro, Hosoda Yoshikatsu, Mori Yuki, Suda Kenji, Kameda Takanori, Ikeda-Ohashi Hanako, Tabara Yasuharu, Yamashiro Kenji, Tamura Hiroshi, Akagi Tadamichi, Matsuda Fumihiko, Tsujikawa Akitaka	4. 巻 4
2. 論文標題 Relationship between Intraocular Pressure and Coffee Consumption in a Japanese Population without Glaucoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ophthalmology Glaucoma	6. 最初と最後の頁 268 ~ 276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ogla.2020.09.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Melgarejo Jesus D., Yang Wen-Yi, Thijs Lutgarde, Li Yan, Asayama Kei, et al.	4. 巻 77
2. 論文標題 Association of Fatal and Nonfatal Cardiovascular Outcomes With 24-Hour Mean Arterial Pressure	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hypertension	6. 最初と最後の頁 39 ~ 48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/HYPERTENSIONAHA.120.14929	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 McEvoy John W., Yang Wen-Yi, Thijs Lutgarde, Zhang Zhen-Yu, Melgarejo Jesus D., Boggia Jose, Hansen Tine W., Asayama Kei, et al.	4. 巻 78
2. 論文標題 Isolated Diastolic Hypertension in the IDACO Study: An Age-Stratified Analysis Using 24-Hour Ambulatory Blood Pressure Measurements	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hypertension	6. 最初と最後の頁 1222 ~ 1231
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/HYPERTENSIONAHA.121.17766	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujita Ayami, Hara Azusa, Kikuya Masahiro, Asayama Kei, Satoh Michihiro, Asakura Kaori, Shintani Yoriko, Uchida Shinya, Takatsuji Yuko, Murakami Takahisa, Hirose Takuo, Tsubota-Utsugi Megumi, Inoue Ryusuke, Nomura Kyoko, Metoki Hirohito, Hozawa Atsushi, Miyazaki Seiko, Imai Yutaka, Ohkubo Takayoshi	4. 巻 252
2. 論文標題 Blood Pressure Phenotypes Defined by Ambulatory Blood Pressure Monitoring and Carotid Artery Changes in Community-Dwelling Older Japanese Adults: The Ohasama Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Tohoku Journal of Experimental Medicine	6. 最初と最後の頁 269 ~ 279
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1620/tjem.252.269	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito Motoo, Nishitani Kohei, Ito Hiromu, Ikezoe Tome, Furu Moritoshi, Okahata Akinori, Nigoro Kazuya, Kawata Tomotoshi, Nakamura Shinichiro, Kuriyama Shinichi, Tabara Yasuharu, Ichihashi Noriaki, Tsuboyama Tadao, Matsuda Fumihiko, Matsuda Shuichi	4. 巻 32
2. 論文標題 Tenderness of the knee is associated with thinning of the articular cartilage evaluated with ultrasonography in a community-based cohort: The Nagahama study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Modern Rheumatology	6. 最初と最後の頁 658-664
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/mr/roab040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murase Kimihiko, Matsumoto Takeshi, Tabara Yasuharu, et al.	4. 巻 19
2. 論文標題 Association of Sleep-disordered Breathing and Blood Pressure with Albuminuria: The Nagahama Study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Annals of the American Thoracic Society	6. 最初と最後の頁 451 ~ 461
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1513/AnnalsATS.202105-5280C	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukuhara Shizuko, Asai Keita, Fukuhara Takehisa, Kakeno Asumi, Yamanaka Shigeki, Nakao Kazumasa, Watanabe Takuma, Takahashi Katsu, Yamazaki Toru, Umebachi Chisa, Kashiwagi Marina, Setoh Kazuya, Kawaguchi Takahisa, Tabara Yasuharu, Morita Satoshi, Nakayama Takeo, Matsuda Fumihiko, Nakao Kazuwa, Bessho Kazuhisa	4. 巻 -
2. 論文標題 Association Between Tooth Loss and Longitudinal Changes in B-Type Natriuretic Peptide Over 5 Years in Postmenopausal Women: The Nagahama Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Current Problems in Cardiology	6. 最初と最後の頁 100997
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cpcardiol.2021.100997	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satoh Michihiro, Metoki Hirohito, Asayama Kei, Kikuya Masahiro, Murakami Takahisa, Tatsumi Yukako, Hara Azusa, Tsubota-Utsugi Megumi, Hirose Takuo, Inoue Ryusuke, Nomura Kyoko, Hozawa Atsushi, Imai Yutaka, Ohkubo Takayoshi	4. 巻 35
2. 論文標題 Prediction Models for the 5- and 10-Year Incidence of Home Morning Hypertension: The Ohasama Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 American Journal of Hypertension	6. 最初と最後の頁 328 ~ 336
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ajh/hpab177	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori Yuki, Miyake Masahiro, Hosoda Yoshikatsu, Uji Akihito, Nakano Eri, Takahashi Ayako, Muraoka Yuki, Miyata Manabu, Tamura Hiroshi, Ooto Sotaro, Tabara Yasuharu, Yamashiro Kenji, Matsuda Fumihiko, Tsujikawa Akitaka, Nakayama Takeo, Sekine Akihiro, Kosugi Shinji, Tabara Yasuharu, Matsuda Fumihiko	4. 巻 1
2. 論文標題 Distribution of Choroidal Thickness and Choroidal Vessel Dilation in Healthy Japanese Individuals	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ophthalmology Science	6. 最初と最後の頁 100033 ~ 100033
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.xops.2021.100033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Takeshi, Hirai Toyohiro, Chin Kazuo	4. 巻 7
2. 論文標題 Evidence of an Association of Obstructive Sleep Apnea with Diabetes and Diabetic Complications	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Current Sleep Medicine Reports	6. 最初と最後の頁 186 ~ 196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s40675-021-00217-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Basak Tapati, Nagashima Kazuhisa, Kajimoto Satoshi, Kawaguchi Takahisa, Tabara Yasuharu, Matsuda Fumihiko, Yamada Ryo	4. 巻 12
2. 論文標題 A Geometry-Based Multiple Testing Correction for Contingency Tables by Truncated Normal Distribution	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Statistics in Biosciences	6. 最初と最後の頁 63 ~ 77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12561-020-09271-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tabara Yasuharu, Masaki Mitsuhiro, Ikezoe Tome, Setoh Kazuya, Kato Takehiro, Kawaguchi Takahisa, Kosugi Shinji, Nakayama Takeo, Ichihashi Noriaki, Tsuboyama Tadao, Matsuda Fumihiko, Nagahama Study Group	4. 巻 32
2. 論文標題 Small Degree of Lumbar Lordosis as an Overlooked Determinant for Orthostatic Increases in Blood Pressure in the Elderly: The Nagahama Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 American Journal of Hypertension	6. 最初と最後の頁 61 ~ 69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ajh/hpy137	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Funada Satoshi, Tabara Yasuharu, Setoh Kazuya, Negoro Hiromitsu, Akamatsu Shusuke, Yoshino Takayuki, Yoshimura Koji, Watanabe Norio, Furukawa Toshi A., Matsuda Fumihiko, Ogawa Osamu	4. 巻 204
2. 論文標題 Impact of Nocturia on Mortality: The Nagahama Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Urology	6. 最初と最後の頁 996-1002
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JU.0000000000001138	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Ayako, Hosoda Yoshikatsu, Miyake Masahiro, Miyata Manabu, Oishi Akio, Tamura Hitoshi, Ooto Sotaro, Yamashiro Kenji, Tabara Yasuharu, Matsuda Fumihiko, Tsujikawa Akitaka	4. 巻 5
2. 論文標題 Clinical and Genetic Characteristics of Pachydrusen in Eyes with Central Serous Choroidopathy and General Japanese Individuals	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ophthalmology Retina	6. 最初と最後の頁 910-917
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.oret.2020.12.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujita Ayami, Hara Azusa, Kikuya Masahiro, Asayama Kei, Satoh Michihiro, Asakura Kaori, Shintani Yoriko, Uchida Shinya, Takatsuji Yuko, Murakami Takahisa, Hirose Takuo, Tsubota-Utsugi Megumi, Inoue Ryusuke, Nomura Kyoko, Metoki Hirohito, Hozawa Atsushi, Miyazaki Seiko, Imai Yutaka, Ohkubo Takayoshi	4. 巻 252
2. 論文標題 Blood Pressure Phenotypes Defined by Ambulatory Blood Pressure Monitoring and Carotid Artery Changes in Community-Dwelling Older Japanese Adults: The Ohasama Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Tohoku Journal of Experimental Medicine	6. 最初と最後の頁 269-279
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1620/tjem.252.269	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuharu Tabara, Setoh Kazuya, Kawaguchi Takahisa, Nakayama Takeo, Matsuda Fumihiko, the Nagahama study group	4. 巻 23
2. 論文標題 Brachial ankle pulse wave velocity and cardio ankle vascular index are associated with future cardiovascular events in a general population: The Nagahama Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Clinical Hypertension	6. 最初と最後の頁 1390-1398
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jch.14294	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama Shingo, Satoh Michihiro, Metoki Hirohito, Murakami Takahisa, Asayama Kei, Hara Azusa, Hirose Takuo, Kanno Atsuhiko, Inoue Ryusuke, Tsubota-Utsugi Megumi, Kikuya Masahiro, Mori Takefumi, Hozawa Atsushi, Imai Yutaka, Ohkubo Takayoshi	4. 巻 44
2. 論文標題 Lifetime risk of stroke stratified by chronic kidney disease and hypertension in the general Asian population: the Ohasama study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hypertension Research	6. 最初と最後の頁 866-873
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41440-021-00635-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Melgarejo JD, Yang WY, Thijs L, Li Y, Asayama K, Hansen TW, Wei FF, Kikuya M, Ohkubo T, et al.	4. 巻 77
2. 論文標題 Association of Fatal and Nonfatal Cardiovascular Outcomes With 24-Hour Mean Arterial Pressure	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hypertension	6. 最初と最後の頁 39-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/HYPERTENSIONAHA.120.14929	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 McEvoy JW, Yang WY, Thijs L, Zhang ZY, Melgarejo JD, Boggia J, Hansen TW, Asayama K, Ohkubo T, et al.	4. 巻 78
2. 論文標題 Isolated Diastolic Hypertension in the IDACO Study: An Age-Stratified Analysis Using 24-Hour Ambulatory Blood Pressure Measurements	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hypertension	6. 最初と最後の頁 1222-1231
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/HYPERTENSIONAHA.121.17766	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Melgarejo JD, Thijs L, Wei DM, Bursztyn M, Yang WY, Li Y, Asayama K, Hansen TW, Kikuya M, Ohkubo T, et al.	4. 巻 34
2. 論文標題 Relative and Absolute Risk to Guide the Management of Pulse Pressure, an Age-Related Cardiovascular Risk Factor	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 American Journal of Hypertension	6. 最初と最後の頁 929-938
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ajh/hpab048	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishikawa Tomofumi, Akiguchi Ichiro, Satoh Michihiro, Hara Azusa, Hirano Mikio, Hosokawa Aya, Metoki Hirohito, Asayama Kei, Kikuya Masahiro, Nomura Kyoko, Hozawa Atsushi, Miyamatsu Naomi, Imai Yutaka, Ohkubo Takayoshi	4. 巻 11
2. 論文標題 The association of disproportionately enlarged subarachnoid space hydrocephalus with cognitive deficit in a general population: the Ohasama study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 17061
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-95961-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Muroya Tomoko, Satoh Michihiro, Murakami Takahisa, Nakayama Shingo, Asayama Kei, Hirose Takuo, Tatsumi Yukako, Inoue Ryusuke, Tsubota-Utsugi Megumi, Hara Azusa, Kogure Mana, Nakaya Naoki, Nomura Kyoko, Kikuya Masahiro, Metoki Hirohito, Imai Yutaka, Hozawa Atsushi, Ohkubo Takayoshi	4. 巻 40
2. 論文標題 Association between urinary sodium-to-potassium ratio and home blood pressure and ambulatory blood pressure: the Ohasama study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Hypertension	6. 最初と最後の頁 862-869
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/HJH.0000000000003087	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satoh Michihiro, Metoki Hirohito, Asayama Kei, Kikuya Masahiro, Murakami Takahisa, Tatsumi Yukako, Hara Azusa, Tsubota-Utsugi Megumi, Hirose Takuo, Inoue Ryusuke, Nomura Kyoko, Hozawa Atsushi, Imai Yutaka, Ohkubo Takayoshi	4. 巻 35
2. 論文標題 Prediction Models for the 5- and 10-Year Incidence of Home Morning Hypertension: The Ohasama Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 American Journal of Hypertension	6. 最初と最後の頁 328-336
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ajh/hpab177	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tabara Yasuharu, Matsumoto Takeshi, Murase Kimihiko, Setoh Kazuya, Kawaguchi Takahisa, Kosugi Shinji, Nakayama Takeo, Hirai Toyohiro, Wakamura Tomoko, Chin Kazuo, Matsuda Fumihiko	4. 巻 38
2. 論文標題 Home device-monitored sleep blood pressure reflects large artery stiffness: the Nagahama study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Hypertension	6. 最初と最後の頁 2459-2464
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/HJH.0000000000002576	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Asayama Kei, Ohkubo Takayoshi, Imai Yutaka	4. 巻 -
2. 論文標題 In-office and out-of-office blood pressure measurement	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Human Hypertension	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41371-021-00486-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Godai K, Kabayama M, Gondo Y, Yasumoto S, Sekiguchi T, Noma T, Tanaka K, Kiyoshige E, Akagi Y, Sugimoto K, Akasaka H, Takami Y, Takeya Y, Yamamoto K, Arai Y, Masui Y, Ishizaki T, Ikebe K, Satoh M, Asayama K, Ohkubo T, Rakugi H, Kamide K and SONIC study group.	4. 巻 43
2. 論文標題 Day-to-day blood pressure variability is associated with lower cognitive performance among the Japanese community-dwelling oldest-old population: the SONIC study.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Hypertension Research	6. 最初と最後の頁 404-411
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41440-019-0377-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yang WY, Melgarejo JD, Thijs L, Zhang ZY, Boggia J, Wei FF, Hansen TW, Asayama K, Ohkubo T, Jeppesen J, Dolan E, Stolarz-Skrzypek K, Malyutina S, Casiglia E, Lind L, Filipovsky J, Maestre GE, Li Y, Wang JG, Imai Y, Kawecka-Jaszcz K, Sandoya E, Narkiewicz K, O'Brien E, Verhamme P, Staessen JA.	4. 巻 322
2. 論文標題 Association of office and ambulatory blood pressure with mortality and cardiovascular outcomes.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 JAMA	6. 最初と最後の頁 409-420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1001/jama.2019.9811	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Satoh M, Metoki H, Asayama K, Murakami T, Inoue R, Tsubota-Utsugi M, Matsuda A, Hirose T, Hara A, Obara T, Kikuya M, Nomura K, Hozawa A, Imai Y, Ohkubo T.	4. 巻 8
2. 論文標題 Age-related trends in home blood pressure, home pulse rate, and day-to-day blood pressure and pulse rate variability based on longitudinal cohort data: the Ohasama study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the American Heart Association	6. 最初と最後の頁 e012121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/JAHA.119.012121	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Asayama K, Tabara Y, Oishi E, Sakata S, Hisamatsu T, Godai K, Kabayama M, Tatsumi Y, Hata J, Kikuya M, Kamide K, Miura K, Ninomiya T, Ohkubo T.	4. 巻 43
2. 論文標題 Recent status of self-measured home blood pressure in the Japanese general population: a modern database on self-measured home blood pressure (MDAS).	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Hypertension Research	6. 最初と最後の頁 1403-1412
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41440-020-0530-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sano H, Hara A, Asayama K, Miyazaki S, Kikuya M, Imai Y, Ohkubo T.	4. 巻 10
2. 論文標題 Antihypertensive drug effects according to the pretreatment self-measured home blood pressure: the HOMED-BP study.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e040524
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2020-040524	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Li Y, Thijs L, Zhang ZY, Asayama K, et al.	4. 巻 74
2. 論文標題 Opposing age-related trends in absolute and relative risk of adverse health outcomes associated with out-of-office blood pressure.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Hypertension	6. 最初と最後の頁 1333-1342
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/HYPERTENSIONAHA.119.12958	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tabara Yasuharu, Setoh Kazuya, Kawaguchi Takahisa, Takahashi Yoshimitsu, Kosugi Shinji, Nakayama Takeo, Matsuda Fumihiko	4. 巻 36
2. 論文標題 Factors affecting longitudinal changes in cardioankle vascular index in a large general population	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Hypertension	6. 最初と最後の頁 1147 ~ 1153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/HJH.0000000000001672	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato Michihiro, Asayama Kei, Murakami Takahisa, Kikuya Masahiro, Metoki Hirohito, Imai Yutaka, Ohkubo Takayoshi	4. 巻 42
2. 論文標題 Stroke risk due to partial white-coat or masked hypertension based on the ACC/AHA guideline's blood pressure threshold: the Ohasama study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Hypertension Research	6. 最初と最後の頁 120 ~ 122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41440-018-0133-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tabara Yasuharu, Ikezoe Tome, Yamanaka Mikihiro, Setoh Kazuya, Segawa Hiroaki, Kawaguchi Takahisa, Kosugi Shinji, Nakayama Takeo, Ichihashi Noriaki, Tsuboyama Tadao, Matsuda Fumihiko, The Nagahama Study Group	4. 巻 74
2. 論文標題 Advanced Glycation End Product Accumulation Is Associated With Low Skeletal Muscle Mass, Weak Muscle Strength, and Reduced Bone Density: The Nagahama Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journals of Gerontology: Series A	6. 最初と最後の頁 1446 ~ 1453
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/gerona/gly233	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Cheng YB, Thijs L, Zhang ZY, Kikuya M, Yang WY, Melgarejo JD, Boggia J, Wei FF, Hansen TW, Yu CG, Asayama K, Ohkubo T, Dolan E, Stolarz-Skrzypek K, Malyutina S, Casiglia E, Lind L, Filipovsky J, Maestre GE, Imai Y, Kawecka-Jaszcz K, Sandoya E, Narkiewicz K, Li Y, O'Brien E, Wang JG, Staessen JA.	4. 巻 74
2. 論文標題 Outcome-Driven Thresholds for Ambulatory Blood Pressure Based on the New American College of Cardiology/American Heart Association Classification of Hypertension	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Hypertension	6. 最初と最後の頁 776 ~ 783
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/HYPERTENSIONAHA.119.13512	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ito Hiromu, on behalf of the Nagahama Study group, Tominari Shinjiro, Tabara Yasuharu, Nakayama Takeo, Furu Moritoshi, Kawata Tomotoshi, Azukizawa Masayuki, Setoh Kazuya, Kawaguchi Takahisa, Matsuda Fumihiko, Matsuda Shuichi	4. 巻 21
2. 論文標題 Low back pain precedes the development of new knee pain in the elderly population; a novel predictive score from a longitudinal cohort study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Arthritis Research & Therapy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13075-019-1884-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto T, Tabara Y, Murase K, Setoh K, Kawaguchi T, Nagashima S, Kosugi S, Nakayama T, Wakamura T, Hirai T, Matsuda F, Chin K.	4. 巻 36
2. 論文標題 Nocturia and increase in nocturnal blood pressure: the Nagahama study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Hypertension	6. 最初と最後の頁 2185-2192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/HJH.0000000000001802	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tabara Y, Matsumoto T, Murase K, Setoh K, Kawaguchi T, Nagashima S, Kosugi S, Nakayama T, Wakamura T, Hirai T, Chin K, Matsuda F.	4. 巻 31
2. 論文標題 Day-to-Day Home Blood Pressure Variability and Orthostatic Hypotension: The Nagahama Study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 American Journal of Hypertension	6. 最初と最後の頁 1278-1285
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ajh/hpy131	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato M, Murakami T, Asayama K, Hirose T, Kikuya M, Inoue R, Tsubota-Utsugi M, Murakami K, Matsuda A, Hara A, Obara T, Kawasaki R, Nomura K, Metoki H, Node K, Imai Y, Ohkubo T.	4. 巻 82
2. 論文標題 N-terminal pro-B-type natriuretic peptide is not a significant predictor of stroke incidence after 5 years- the Ohasama study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Circulation Journal	6. 最初と最後の頁 2055-2062
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circj.CJ-17-1227	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iida M, Ikeda F, Hata J, Hirakawa Y, Ohara T, Mukai N, Yoshida D, Yonemoto K, Esaki M, Kitazono T, Kiyohara Y, Ninomiya T.	4. 巻 21
2. 論文標題 Development and validation of a risk assessment tool for gastric cancer in a general Japanese population.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Gastric Cancer	6. 最初と最後の頁 383-390
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-017-0768-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watabe D, Asayama K, Hanazawa T, Hosaka M, Satoh M, Yasui D, Obara T, Inoue R, Metoki H, Kikuya M, Imai Y, Ohkubo T.	4. 巻 41
2. 論文標題 Predictive power of home blood pressure indices at baseline and during follow-up in hypertensive patients: HOMED-BP study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Hypertension Research	6. 最初と最後の頁 622-628
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41440-018-0050-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taniguchi Masashi, Ikezoe Tome, Masaki Mitsuhiro, Kamitani Tsukasa, Tsuboyama Tadao, Ito Hiromu, Matsuda Shuichi, Tabara Yasuharu, Matsuda Fumihiko, Ichihashi Noriaki, Nagahama Study group The	4. 巻 -
2. 論文標題 Coexistence of low back pain and lumbar kyphosis is associated with increased functional disability in knee osteoarthritis: the Nagahama Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Arthritis Care & Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/acr.24580	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計31件 (うち招待講演 23件 / うち国際学会 18件)

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 Sex differences on out-of-office blood pressure.
3. 学会等名 Pulse of Asia (POA) 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 Ambulatory BP Monitoring.
3. 学会等名 Asian Pacific Society of Cardiology (APSC) Congress in 2019 in conjunction with the 50th Annual Convention and Scientific Meeting of the Philippine Heart Association (PHA) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 Japan National Health and Nutrition Survey (NHNS of Japan) - blood pressure measurement standard protocol and replacement of mercury device for non-mercury era.
3. 学会等名 Hypertension Jeju 2019 in conjunction with the 50th Scientific Meeting of the Korean Society of Hypertension (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 浅山 敬
2. 発表標題 家庭血圧、自由行動下血圧の性差。
3. 学会等名 第55回日本循環器病予防学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 Home versus Ambulatory Blood Pressure Monitoring.
3. 学会等名 The 29th Congress of the European Society of Hypertension (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 Research on home nighttime blood pressure.
3. 学会等名 2019 Chinese Hypertension Meeting and 21st International Symposium on Hypertension & Related Diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 浅山 敬
2. 発表標題 ビッグデータの血圧値は信用できるか?
3. 学会等名 第1回Digital Hypertension Conference (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 Experiment of the integration of partitioned summary data.
3. 学会等名 IDACO/IDHOCO/IDCARS Consortium Meeting 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 Home blood pressure variability based on the routine self-measurement.
3. 学会等名 Pulse of Asia (POA) 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 浅山 敬
2. 発表標題 血圧の測定と評価における問題点
3. 学会等名 第7回臨床高血圧フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 Prognostic relevance of seasonal blood pressure changes.
3. 学会等名 Seasonal and Altitude Variation in Blood Pressure: Evidence, Consensus and Recommendation for Clinical Practice (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 浅山 敬
2. 発表標題 血圧測定の要点と論点 国際規格とガイドラインの動向を踏まえて
3. 学会等名 第41回日本高血圧学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 Practical Use of Self-measured Home Blood Pressure.
3. 学会等名 Hypertension Beijing 2018 meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐野ひかり、浅山敬、原梓、飯尾悠平、北澤貴博、宮崎生子、菊谷昌浩、今井潤、大久保孝義
2. 発表標題 家庭血圧に基づく降圧度に関する検討 HOMED-BP研究
3. 学会等名 第30回血圧管理研究会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 浅山敬
2. 発表標題 血圧日内・日間変動と脳心血管疾患のリスク
3. 学会等名 第87回日本衛生学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 Nocturnal blood pressure
3. 学会等名 The 27th European Meeting on Hypertension and Cardiovascular Protection（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Michihiro Satoh, Kei Asayama, Masahiro Kikuya, Ryusuke Inoue, Megumi Tsubota-Utsugi, Taku Obara, Keiko Murakami, Ayako Matsuda, Takahisa Murakami, Kyoko Nomura, Hirohito Metoki, Yutaka Imai, Takayoshi Ohkubo
2. 発表標題 Nocturnal blood pressure decline based on different time intervals and long-term cardiovascular risk: the Ohasama study
3. 学会等名 The 27th European Meeting on Hypertension and Cardiovascular Protection（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 浅山敬、大久保孝義
2. 発表標題 家庭血圧に関するメタ解析への貢献: IDHOCO
3. 学会等名 第40回日本高血圧学会総会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 Significance of self-measured home blood pressure -- a Japanese perspective
3. 学会等名 Ready for 2018 -- The 6th China International Forum on Hypertension (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 Current topics of BP monitoring in Japan
3. 学会等名 第43回日本高血圧学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 浅山 敬
2. 発表標題 家庭血圧で何がわかるのか？ここからの発展は？
3. 学会等名 第2回 Digital Hypertension Conference (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Benjamin Gavish, Michael Bursztyn, Wen-Yi Yang, Lutgarde Thijs, Zhen-Yu Zhang, Jose Boggia, Tine W. Hansen, Kei Asayama, et al.
2. 発表標題 Predictive power of 24-hour ambulatory pulse pressure and its components for mortality and cardiovascular outcomes in 11,848 participants recruited from 13 populations
3. 学会等名 Joint Meeting ESH-ISH 2021 on-air (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 BP measurement in pharmacies/kiosks
3. 学会等名 Joint Meeting ESH-ISH 2021 on-air (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yukako Tatsumi, Akiko Morimoto, Kei Asayama, Nao Sonoda, Naomi Miyamatsu, Yuko Ohno, Yoshihiro Miyamoto, Satoshi Izawa, Takayoshi Ohkubo
2. 発表標題 High fasting blood glucose level increase risk of hypertension incidence independent of insulin resistance in Japanese: the Saku study
3. 学会等名 Joint Meeting ESH-ISH 2021 on-air (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 How to titrate treatment and follow-up in clinical practice?
3. 学会等名 Joint Meeting ESH-ISH 2021 on-air (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Jesus Melgarejo, Wen-Yi Yang, Lutgarde Thijs, Yan Li, Kei Asayama, Tine W. Hansen, Masahiro Kikuya, Takayoshi Ohkubo, Jan A. Staessen, et al
2. 発表標題 Association of fatal and nonfatal cardiovascular outcomes with 24 hour mean arterial pressure
3. 学会等名 Joint Meeting ESH-ISH 2021 on-air (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 浅山 敬
2. 発表標題 生活習慣の高血圧・脂質異常症・糖尿病と脳卒中・循環器病へのリスクと介入効果
3. 学会等名 第57回日本循環器病予防学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 浅山 敬、大久保孝義、楽木宏実、宮川政昭、森壽生、勝谷友宏、池原由美、植田真一郎、大屋祐輔、土橋卓也、苅尾七臣、三浦克之、伊藤貞嘉、梅村 敏
2. 発表標題 AOBP・診察室血圧と家庭血圧の再現性比較: COSAC study
3. 学会等名 第43回日本高血圧学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kei Asayama
2. 発表標題 In-Office and Out-of-Office Blood Pressure Variability as Cardiovascular Risk Factor
3. 学会等名 The 19th International Symposium on Atherosclerosis (ISA2021) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 浅山 敬
2. 発表標題 白衣高血圧の鑑別と対応
3. 学会等名 第43回日本高血圧学会総会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山崎貞一郎、野村恭子、佐藤倫広、原 梓、坪田恵、村上任尚、広瀬卓男、辰巳友佳子、浅山 敬、菊谷昌浩、目時弘仁、竇澤 篤、大久保孝義
2. 発表標題 出産回数と認知機能との関連に関する横断研究：大迫研究
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 K. Asayama, T. J. Niiranen, T. Ohkubo, G. S. Stergiou, L. Thijs, Y. Imai, J.A. Staessen.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer International Publishing	5. 総ページ数 174
3. 書名 Home Blood Pressure Monitoring	

1. 著者名 Asayama Kei, Ohkubo Takayoshi.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature Singapore Pte Ltd.	5. 総ページ数 VIII, 196
3. 書名 Blood Pressure and Cardiovascular Disease in the Elderly. In: Health Issues and Care System for the Elderly.	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	田原 康玄  (Tabara Yasuharu)  (00268749)	京都大学・医学研究科・准教授   (14301)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	二宮 利治 (Ninomiya Toshiharu) (30571765)	九州大学・医学研究院・教授  (17102)	
研究分担者	神出 計 (Kamide Kei) (80393239)	大阪大学・医学系研究科・教授  (14401)	
研究分担者	大久保 孝義 (Ohkubo Takayoshi) (60344652)	帝京大学・医学部・教授  (32643)	
研究分担者	菊谷 昌浩 (Kikuya Masahiro) (80361111)	帝京大学・医学部・教授  (32643)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	辰巳 友佳子 (Tatsumi Yukako)		
研究協力者	佐藤 倫広 (Satoh Michihiro)		
研究協力者	原 梓 (Hara Azusa)		

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 IDACO/IDHOCO/IDCARS Consortium Meeting 2019	開催年 2019年～2019年
---	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
ベルギー	KU Leuven	APPREMED	